

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

1-1-2

事務事業名	診療情報管理業務	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院経営の安定化		公約達成年次 2021年
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

診療記録の保管管理、診療情報の提供、疾病統計の作成、退院時要約の管理、退院時のDPCデータ作成・提出、がん患者情報の作成・提出を診療情報管理士が実施している。2年毎の診療報酬改定に伴うDPCデータ作成要領変更やがん登録における各臓器がん取り扱い規約改訂などにより、医療的な専門性や業務量が増加している。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

診療情報管理業務は、急性期一般入院料及び地域包括ケア入院医療管理料を維持するための必須条件であり、診療録管理に関する加算の算定上、施設基準上必須となっており、業務の質及び量はますます増えていくため縮小できない。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円					
人件費	人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6
		人工数(業務量)	人工	0.9032	0.8273			
		人件費計(B)	円	7,026,503	6,451,395			
		トータルコスト(A+B)	円	7,026,503	6,451,395			

事務事業名	医薬材料等購入事業	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院経営の安定化	公約達成年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 薬局・病棟等から要望を受け薬品・診療材料等を発注する。薬品等が入庫した後は検収・配布・在庫管理を行う。薬価改正がある年度は採用薬品の見積徴収・交渉・決定作業がある。診療材料は保険請求の可否について確認する。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 外来患者・入院患者</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 薬品・診療材料を使用し、処置・治療・検査を受けることができる。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 病気の治療等及び健康状態の確認。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 発注回数	回
② 薬品・診療材料の種類	種類
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 入院患者数	人
② 外来患者数	人
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 治療・処置・検査等を受ける人数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公立芽室病院の医療体制に対する満足度	%
② 患者数(外来)	人
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	242,059,798	185,478,200	209,000,000	209,000,000	209,000,000	209,000,000
	事業費計(A)	円	242,059,798	185,478,200	209,000,000	209,000,000	209,000,000	209,000,000
	正職員従事人数	人	6	6	5	5	5	5
人件費	人工数(業務量)	人工	0.86	0.76				
	人件費計(B)	円	6,717,654	5,903,355				
	トータルコスト(A+B)	円	248,777,452	191,381,555				
活動指標	① 回		243	244	244	244	244	244
	② 種類		2,549	2,239	2,239	2,239	2,239	2,239
	③							
対象指標	① 人		33,498	30,670	34,221	34,221	34,221	34,221
	② 人		74,477	67,471	72,105	72,105	72,105	72,105
	③							
成果指標	① 人		108,525	98,674	107,019	107,019	107,019	107,019
	②							
	③							
上位成果指標	① %		42.6	34.2	—	—	—	—
	② 人		—	—	70,000	70,000	70,000	70,000
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 後発品(ジェネリック医薬品)の使用が増え、管理する薬品の種類が増加している。今後も更に後発品の使用率が高くなることから、薬品の管理や、薬価改正に伴う収入のバランスが課題である。</p>	<p>2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 薬品については後発品(ジェネリック医薬品)の使用が、厚生労働省により、令和2年9月までに80%以上の使用が目標とされているので、今後使用率が増えていくことが予想される。 (2019年3月現在50.00%) 2年毎の薬価改正で、薬価・診療材料の保険点数が下がる傾向にある。</p>
---	--



2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 1-1-2

事務事業名	医療(入院・外来・各種健診・交通事故保険) 収入受入事務	所属 部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院経営の安定化	公約達成 年次	2021年
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

入院・外来患者の診察料、各種健診料、交通事故診療等の銀行振り込み入金処理業務

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

現状維持

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円						
	人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
人工数(業務量)		人工	0.1291	0.1878					
人件費計(B)		円	1,004,342	1,464,416					
トータルコスト(A+B)		円	1,004,342	1,464,416					

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 1-1-2

事務事業名	医療案内作成・掲示事務	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院の経営安定化		公約達成年次 2021年
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

医師の出張等による休診及び外来医師名変更の外来患者用の院内掲示。耳鼻科の月別医師予定表の作成、関係部署への配布及び院内掲示。患者配布用各診療科の外来診療及び医師予定表の作成。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

現状維持

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円						
人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6	
	人工数(業務量)	人工	0.0441	0.0523					
	人件費計(B)	円	343,079	407,577					

	トータルコスト(A+B)	円	343,079	407,577				
--	--------------	---	---------	---------	--	--	--	--

事務事業名	医療業務委託事業	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院経営の安定化	公約達成年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 受付、会計、入院・外来精算、電話交換、用度等の専門業務を取り扱う。
2. 対象(何を対象にしているか) 入院患者、外来患者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 個々の受診者の状況を把握し、受付、会計、入院・外来精算を円滑に図る。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 受付、会計、入院・外来精算を円滑に図ることができる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 入院患者数	人
② 外来患者数	人
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 入院患者数	人
② 外来患者数	人
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 入院患者数	人
② 外来患者数	人
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公立芽室病院の医療体制に対して満足している町民の割合	%
② 患者数(外来)	人
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	62,226,867	59,353,168	56,661,034	56,661,034	56,661,034	56,661,034
	事業費計(A)	円	62,226,867	59,353,168	56,661,034	56,661,034	56,661,034	56,661,034
	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
人件費	人工数(業務量)	人工	0.3564	0.3280				
	人件費計(B)	円	2,772,637	2,557,974				
	トータルコスト(A+B)	円	64,999,504	61,911,142				
	活動指標	① 人	33,498	30,670	34,221	34,221	34,221	34,221
	② 人	74,477	67,471	72,105	72,105	72,105	72,105	
	③							
対象指標	① 人	33,498	30,670	34,221	34,221	34,221	34,221	
	② 人	74,477	67,471	72,105	72,105	72,105	72,105	
	③							
成果指標	① 人	33,498	30,670	34,221	34,221	34,221	34,221	
	② 人	74,477	67,471	72,105	72,105	72,105	72,105	
	③							
上位成果指標	① %	42.6	34.2	-	-	-	-	
	② 人	-	-	70,000	70,000	70,000	70,000	
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 直接雇用から委託に切り替えることで、職員数及び人件費の削減による病院経営の効率化と専門的な観点からの診療報酬明細書の請求を目的に行うこととされた。しかし近年は医事業務について専門性のある人材の確保が困難となっており、委託業者における診療報酬請求業務精度が向上していない問題が発生している。	2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 国の医療制度改革により、専門的な知識や経験を有する必要性が年々増している。医事業務を効率的に行い、経営の安定化を図るためには、業者へ委託し、人件費の削減と専門的な観点からの精度の高い診療報酬明細書の請求を行う必要がある。しかし近年専門性のある人材の確保が業者において困難になりつつあることから、専門性の高い人材の直接雇用及び業者委託規模縮小を検討していく。
---	---



2019年度(2018年度実績)事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画
施策番号 1-1-2

事務事業名	医療事務システム(受付再来・会計・精算)維持管理事務	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院経営の安定化	公約達成年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 医療事務機器及びシステムの不具合への対応
2. 対象(何を対象にしているか) 院内の医事コンピュータ機器、システム
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 支障なく日常業務で使用できる性能を維持する
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 安定的な業務の継続

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 委託件数	件
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 管理しているコンピュータの台数	台
② 管理しているシステム数	件
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 受診者に影響を与えた障害発生件数	件
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公立芽室病院の医療体制に対して満足している市民の割合	%
② 患者数(外来)	人
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	2,359,800	2,570,400	2,381,650	2,381,650	2,381,650	2,381,650
	事業費計(A)	円	2,359,800	2,570,400	2,381,650	2,381,650	2,381,650	2,381,650
人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
	人工数(業務量)	人工	0.3481	0.3739				
	人件費計(B)	円	2,708,067	2,915,947				
	トータルコスト(A+B)	円	5,067,867	5,486,347				
活動指標	①	件	5	5	5	5	5	5
	②							
	③							
対象指標	①	台	19	19	19	19	19	19
	②	件	19	19	19	19	19	19
	③							
成果指標	①	件	1	1	0	0	0	0
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	42.6	34.2	-	-	-	-
	②	人	-	-	70,000	70,000	70,000	70,000
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成14年に病院業務の効率化、カルテ情報の共有を目的に電子カルテ・医療事務機器及び医事システムを導入。医療事務機器及び医事システムの維持、管理を行う。電子カルテ・医療事務機器及び医事システムはより高度化・多様化していることから、職員による対応が困難となってきた。平成27年度にOSのサポート期限が切れていることから電子カルテを更新、医事システムについてもバージョンアップを図った。今後は医療機器、医事システムの安定的な維持管理を図ることで業務の効率化を進め、費用対効果を高める。	2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 病院の医事業務の大部分は医事事務機器・システムがなくては成り立たず、電算機器に障害が発生しないよう、適切な維持管理を行う必要がある。医療事務機器・システムを維持管理をしない場合、トラブルに対して迅速な対応ができなくなり、業務に影響を及ぼすことから、障害の発生件数を可能な限り減少させることが成果指数の向上に資するものである。パソコンやプリンタなど医療事務機器・システムを構築する機器本体の老朽化が進んでおり、新たな機器・システムの導入は費用対効果を見定めながら進める一方、現役システムの中で、適切な維持管理を継続し、最大限に活用する。
--	--



事務事業名	医療相談室運営事業	所属部門	公立芽室病院事務局 医事係
町長公約	公立芽室病院の経営の安定化	公約達成年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 入院・外来患者及び他医療機関機関患者に対して、医療ソーシャルワーカー(MSW)が、相談業務を実施している
2. 対象(何を対象にしているか) 入院患者、外来患者、他医療機関患者、施設利用者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 相談者の健康・生活状態を把握し、課題を分析した上で、必要な情報を提供し、抱えている問題や不安が解消される
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 相談者の抱える生活課題が解決し、安心して地域生活で暮らし続けることができる

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 入院患者数	人
② 外来患者数	人
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 入院患者数	人
② 外来患者数	人
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 相談者数(延べ)	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公立芽室病院の医療体制に対して満足している町民の割合	%
② 患者数(外来)	人
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	円						
人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
	人工数(業務量)	人工	1,2568	1,1802				
	人件費計(B)	円	9,777,357	9,203,143				
	トータルコスト(A+B)	円	9,777,357	9,203,143				
活動指標	①	人	33,498	30,670	34,221	34,221	34,221	34,221
	②	人	74,477	67,471	72,105	72,105	72,105	72,105
	③							
対象指標	①	人	33,498	30,670	34,221	34,221	34,221	34,221
	②	人	74,477	67,471	72,105	72,105	72,105	72,105
	③							
成果指標	①	人	4,908	4,743	4,800	4,800	4,800	4,800
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	42.6	34.2	-	-	-	-
	②	人	-	-	70,000	70,000	70,000	70,000
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 相談援助種別では、「受診・受療」に続いて、「退院支援」が続く。早期介入を心がけることで、退院先(在宅復帰・施設受入)選定や調整が円滑に進んでいる反面、患者の地元志向も強く調整期間を要する場合もある。傷病を契機、または顕在化した生活課題に対して、資源不足に着目し、関係機関へのアプローチや新たな資源の構築、整理の場を持つためにソーシャルワーカー介入の必要性がある。	2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 地域包括ケアシステムの構築に向けて地域関係機関との更なる連携と協働を行う。 個々の課題から抽出された制度の縛りや未整備の領域にも着目し、役場担当係や関係機関との調整を行う。 患者家族のニーズを捉え、当院で展開を行っている『訪問診療』や『訪問看護』に繋げていく関わりを強化したい。
--	--

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 1-1-2

事務事業名	介護保険医師意見書等発行事業	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院経営の安定化		公約達成年次 2021年
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

介護保険の認定を希望する患者から(市町村介護保険担当)医師意見書の交付依頼を受け、医師に介護保険主治医意見書の記載を依頼し、記載後介護保険主治医意見書を発行する。その後、主治医意見書の請求書を発行する。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

現状維持

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円						
投入量	人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
		人工数(業務量)	人工	0.3991	0.4510				
		人件費計(B)	円	3,104,824	3,516,846				

トータルコスト(A+B)	円	3,104,824	3,516,846				
--------------	---	-----------	-----------	--	--	--	--

事務事業名	各種健診等実施事務(受託)	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院の経営の安定化	公約達成年次	2021

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 芽室町や他市町村及び各事業者等の要請を受け、各種健診業務を実施している。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 健診業務により対象者は異なる。特定健診(40歳以上)・すこやか健診35歳以上町民。教職員健康診断⇒町内小中学校に勤務する教職員。役場職員人間ドック⇒役場に勤務する30歳代(隔年)及び40歳以上(毎年)の職員。</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 各種健診を実施し、個々の受診者の健康状況を把握し、病気を早期に発見し、治療に当たり健康の回復を図る。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 病気を早期に発見し、適切な治療を行い健康の回復を図る。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① すこやか受診対象人員(35歳以上)	人
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① すこやか健診受診者数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① すこやか健診受診者の事後指導数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公立芽室病院の医療体制に対して満足している町民の割合	%
② 患者数(外来)	人
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	2,929,640	3,173,700	3,165,400	3,165,400	3,165,400	3,165,400
	事業費計(A)	円	2,929,640	3,173,700	3,165,400	3,165,400	3,165,400	3,165,400
人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
	人工数(業務量)	人工	0.9997	0.9944				
	人件費計(B)	円	7,777,231	7,754,504				
	トータルコスト(A+B)	円	10,706,871	10,928,204				
活動指標	①	人	12,794	12,819	12,819	12,819	12,819	12,819
	②							
	③							
対象指標	①	人	550	533	693	693	693	693
	②							
	③							
成果指標	①	人	258	275	250	250	250	250
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	42.6	34.2	-	-	-	-
	②	人	-	-	70,000	70,000	70,000	70,000
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 芽室町が町民の健康状態を把握し、病気の早期発見に取り組む政策的事業として開始された。平成20年度から国の制度改正(40歳以上対象)により、特定健診が保険者の義務付けとなり、特定健診又は「従来のすこやか健診」(特定健診項目を含む)を実施することとなった。 1日の受診者は、従来のすこやか健診(9人まで)と特定健診(3人まで)の2本立てで実施。請求・健診結果等を媒体で国保連合会等に送付する必要があるため、システムの導入が必要となった。また、新たに受診結果に基づき病院保健師等による保健指導を実施することとなった。 新聞・広報・病院HPなどで芽室町民に周知している。</p>	<p>2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 今年度も周知徹底をおこない、申込方法の多様化・簡略化をはかる。また、オプション検査を増やし、健診希望者のニーズに応え、健診受診者希望数を増やしていきたい。その結果、病気を早期に発見し、適切な治療を行い健康の回復を図る。</p>
--	--

事務事業名	患者負担未収金徴収事務	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院経営の安定化	公約達成年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 未納者実態調査
2. 対象(何を対象にしているか) 医療費等の未納者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 医療費等の負担の公平性を図り、患者負担の理解と未収金予防を推進する。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 医療費負担の公平性を図り、病院の経営安定化に結びつける。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 未収金督促件数(法律事務所含む)	件
② 電話督促・個別訪問	件
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 未収金額(年度当初)	円
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 医療費収入金額(年度末)	円
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公立芽室病院の医療体制に対して満足している町民の割合	%
② 患者数(外来)	人
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	143,827	52,488	236,000	236,000	236,000	236,000
	事業費計(A)	円	143,827	52,488	236,000	236,000	236,000	236,000
	人件費							
正職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6	
人工数(業務量)	人工	0.0154	0.0419					
人件費計(B)	円	119,805	326,972					
トータルコスト(A+B)	円	263,632	379,460					
活動指標	①	件	77	73	70	70	70	70
	②	件	24	35	30	30	30	30
	③							
対象指標	①	円	19,765,857	14,807,344	8,913,208	8,443,765	8,357,794	8,351,122
	②							
	③							
成果指標	①	円	11,289,777	7,160,638	1,669,443	1,585,971	1,506,672	1,431,338
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	42.6	34.2	-	-	-	-
	②	人	-	-	70,000	70,000	70,000	70,000
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 患者未納金の発生。	2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 平成28年度から一部債権を法律事務所に委託したことから収納率の上昇、滞納繰越額の減少に繋がっているが、社会保障費の上昇により患者負担が増えるなかで、経済状況等が好転しない限り、今後の未納者の減少は見込めないとと思われる。
----------------------------	---